

科目名	英会話	国際科	2年通年
講師	Ben Wallence	講義	水曜3限
実務経験のある教員 等による指導		2単位 36時間	全33回
科目概要	2年次ではより話せる話題を増やし英語力の向上につなげる。それまでの英語の知識を踏まえ、英語のスピーキングとリスニング能力を高める。他の学生や先生と様々な状況を通じて会話の練習をする。		
到達目標	1年次より幅広いテーマで会話ができるようになることを目標とする。 生徒のリスニングスキルと英語を話すスキルを改善すること。会話能力において更に自信を得ること。中級の質問をし、より複雑な受け答えができるように英語能力を育成する。		
授業計画			
1	Classroom Language – Key phrases for classroom interaction and learning		
2	Start Unit 1 – Introducing yourself and others		
3	Finish Unit 1 – How are you? / Where are you from?		
4	Start Unit 2 – Talking about your personal information using “Wh questions”		
5	Finish Unit 2 – Listening practice and reading about jobs		
6	Start Unit 3 – Talking about likes and dislikes		
7	Finish Unit 3 – Ordering in restaurants and eating out		
8	Review – Units 1-3		
9	Start Unit 4 – Habits and routines		
10	Finish Unit 4 – Leisure activities and professional sports		
11	Start Unit 5 – Daily activities		
12	Finish Unit 5 – Describing activities / reading about cell phone manners		
13	Start Unit 6 – Past events		
14	Finish Unit 6 – Listening about problems / reading about “past to present”		
15	Review – Units 4-6		
16	前期定期試験		
17	Start Unit 7 – Talking about clothes		
18	Finish Unit 7 – Clothes shopping / comparing countries		
19	Start Unit 8 – Describing people		
20	Finish Unit 8 – Describing friends		
21	Start Unit 9 – Tourist sites		
22	Finish Unit 9 – Describing attractions / famous cities		
23	Review – Units 7-9		
24	Start Unit 10 – Places around town		
25	Finish Unit 10 – Tourist facilities / favorite places		
26	Start Unit 11 – Vacation activities		
27	Finish Unit 11 – Describing vacations / hotel description		

28	Start Unit 12 – Future plans
29	Finish Unit 12 – Transportation and travel blogs
30	Review – Units 10-12
31	Content review, class feedback and textbook questions
32	後期定期試験
33	1年のまとめ
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82 B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62 D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>
教科書名	『Smart Choice Level 1』（Oxford University Press）

科目名	基礎英語	国際科	2年通年
講師	松本真夕	講義	火曜2限
実務経験のある教員 等による指導		2単位 36時間	全32回
科目概要	1年次で築いた土台をさらに強固なものにし、しっかりと英語の構造を理解した上で、さらに高いレベルの問題に挑む。		
到達目標	英語検定3級レベルの英語力を習得することを目標とする。		
授業計画			
1	レベルチェックテスト		
2	動詞＋名詞		
3	形容詞		
4	英語検定4級レベル文法の復習：・よく使う一般動詞 have, take 熟語		
5	・動詞熟語(look, go, come, get) ・動詞過去形動詞(will, be going to)		
6	・～しなければならない have to ・不定詞文、動名詞文		
7	・文と文つなぐ語 (when, if, because, before)、・命令文、・あります／いますの存在文		
8	・比較文		
9	・比較文		
10	・許可依頼の文型、・すすめる時、誘う時の文型。		
11	英語検定4級レベル文法の復習		
12	英語検定4級レベルの文法復習		
13	総復習		
14	定期試験		
15	定期試験FB		
16	英語検定3級内容		
17	英語検定3級内容		
18	・L4 現在完了(経験のみ)		
19	・L4 残り、・L3 過去完了(継続)完了、経験		
20	・熟語		
21	・L19 熟語①		
22	・L8 ～してほしい～しかた		
23	・L9 ～にとって、～することは～だ		
24	復習□		
25	復習		
26	・比較		
27	・L1 受身文		
28	L1受身文、L3, 4現在完了		

29	L7, 8不定詞
30	L9, 19復習
31	後期定期試験
32	後期定期試験FB
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82 B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62 D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>
教科書名	『わからないをわかるにかえる英検3級』（文理）

科目名	ビジネスマナー 応用	国際科	2年通年
講師	大脇 誠	講義	金曜4限
実務経験のある教員等による指導	航空会社やコールセンターで得た豊富な知識を活かし、実務的な内容を含みながら社会人として必要なビジネスマナーとその重要性について指導する。	2単位 36時間	全35回
科目概要	1年次に身に付けた知識を活かし、社会人になるという意識をさらに強いものにし、話し方、来客対応など実践的に練習を行っていく。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 秘書検定2級や接客サービスマナー検定2級程度の取得を目指す ・ マナーや所作などの第一印象向上を目指し、就職活動を優位に進める 		
授業計画			
1	ガイダンス（授業概要、検定等について） ビジネスマナーの重要性と身だしなみの基本 挨拶・お辞儀（実技）①		
2	挨拶・お辞儀（実技）② 好感をもたれる第一印象		
3	発声・発音・表情と笑顔のトレーニング ビジネスでの話し方と聞き方		
4	スピーチの仕方とプレゼンテーション 一分間スピーチについて		
5	敬語①		
6	敬語②		
7	ビジネス応対言葉		
8	間違いやすい敬語 印象度アップの話法①		
9	間違いやすい敬語 印象度アップの話法②		
10	敬語テスト		
11	ビジネス系検定 過去問題①		
12	ビジネス系検定 過去問題②		
13	一分間スピーチ発表（前期）		
14	来客時のマナーを理解する		
15	お茶の接待（実技） ビジネス席次のルール		
16	訪問のマナーと名刺交換（実技）		
17	前期定期試験		
18	電話対応①（実技）		
19	電話対応②（実技）		
20	効率よい仕事の進め方（PDCAサイクルと報連相）		
21	文書作成について（社外文書と社内文書）		
22	手紙の基礎知識①		
23	手紙の基礎知識② ビジネスeメールやFAXについて		
24	冠婚葬祭①		
25	冠婚葬祭②		
26	冠婚葬祭③		
27	冠婚葬祭④		
28	一分間スピーチ発表（後期）		

29	テーブルマナー
30	より良い人間関係の築き方と公共のマナー
31	組織の一員としての心得とハラスメントについて
32	後期定期試験
33	オリエンテーション
34	学校行事
35	学校行事
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82 B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62 D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>
教科書名	『ビジネスマナー&コミュニケーション』（（株）コーディネーションフォーラム）

科目名	異文化理解	国際科	2年通年
講師	白濱 明子	講義	金曜3限
実務経験のある教員等による指導		2単位 35時間	全36回
科目概要	世界の多様な文化、習慣に対する理解を深める。グローバル社会、多文化共生の時代で円滑にコミュニケーションを取るために、自分と相手との考え方の違いについて学んでいく。		
到達目標	1年次に学んだ知識をさらに深め、異なる文化の人と出会ったときに、問題なくスムーズにコミュニケーションがとれるようになることを目標とする。		
授業計画			
1	異文化理解とは		
2	文化の氷山モデル		
3	自文化中心主義・文化相対主義		
4	異文化体験振り返り		
5	U字曲線		
6	U字曲線・W字曲線		
7	行動による文化の違い1		
8	行動による文化の違い2		
9	カテゴリー化・固定観念		
10	ステレオタイプ・復習		
11	差別1		
12	差別2		
13	差別3 ディスカッション		
14	差別4 ディスカッションFB		
15	定期試験		
16	定期試験FB		
17	価値観（集団主義・個人主義）		
18	価値観（集団主義・個人主義）		
19	価値観（性善説・性悪説）		
20	価値観（時間・高コンテキスト、低コンテキスト）		
21	価値観（ケースで見る価値観の違い体験・ことわざにみる人生・世界との違い）		
22	スポーツデー		
23	価値観 ことわざ		
24	自分を知る、ジョハリの窓		
25	ジョハリの窓		
26	ジョハリの窓集計 考察		
27	非言語コミュニケーション1		
28	非言語コミュニケーション2		
29	非言語コミュニケーション3		

30	非言語コミュニケーション4
31	誤解・アサーティブコミュニケーション1
32	アサーティブコミュニケーション2
33	定期試験
34	定期試験FB
35	異文化トレーニング1
36	異文化トレーニング2
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82 B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62 D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>
教科書名	原沢伊都夫著「異文化理解入門」（研究社）

科目名	総合教養講座	国際科	2年半期
講師	上野綾子	講義	火曜6限
実務経験のある教員等による指導		1単位 18時間	全17回
科目概要	実際に就職試験に向けて、エントリーの仕方、エントリーシートの書き方を身に付ける。面接試験の練習を徹底的に行うことで就職試験に備える。 ※2年次前期のみ		
到達目標	実際に就職活動を行う上で、運用できる能力を育成することを目標とする。		
授業計画			
1	・就職活動の流れの再認識 ・目標設定		
2	敬語の使い方		
3	敬語の使い方		
4	面接練習		
5	・面接練習振り返り ・自分に何が足りないのかを認識する		
6	働くことへの意識付け：ケーススタディ1		
7	働くことへの意識付け：ケーススタディ1		
8	働くことへの意識付け：ケーススタディ1		
9	働くことへの意識付け：ケーススタディ2		
10	働くことへの意識付け：ケーススタディ2		
11	働くことへの意識付け：ケーススタディ2		
12	働くことへの意識付け：「報・連・相」		
13	働くことへの意識付け：「報・連・相」		
14	前期定期試験		
15	前期的試験FB		
16	チームビルディング		
17	チームビルディング		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82 B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62 D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したと認める</p>		
教科書名	『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力』（国書刊行会）		

科目名	社会人基礎力育成	国際科	2年通年
講師	白濱 明子	講義	水曜4限
実務経験のある教員等による指導		2単位 36時間	全35回
科目概要	一年次に学んだことを基に、さらに働く上で必要となる力を身に付ける。他者と協力して課題をこなし、目標達成を目指す。		
到達目標	社会人としての基礎力を養い、日本で働くビジネスマンとして活躍できる力を身に付けることを目標とする。		
授業計画			
1	社会人基礎力チェック チェックシート		
2	社会人基礎力チェック 計画力		
3	主体性1「なぜ働くのか」		
4	主体性2「なぜ働くのか」読解FB		
5	発信力		
6	発信力 読解、実行力1		
7	発信力 読解、実行力2		
8	状況把握力 空気を読む		
9	チームで働く力1（協調性） ビジネスゲームを通して		
10	チームで働く力2（協調性）、傾聴力、柔軟性		
11	課題発見力、原因究明		
12	傾聴力1		
13	定期試験		
14	定期試験FB		
15	傾聴力・柔軟性2		
16	傾聴力・柔軟性3		
17	セルフブランディング1		
18	セルフブランディング2		
19	セルフブランディング3		
20	規律性 ルールライティング		
21	傾聴力4		
22	傾聴力5		
23	ディスカッション1		
24	ディスカッション2		
25	働きかけ力		
26	実行力1		
27	実行力2		
28	定期試験		
29	定期試験FB		

30	創造力 1
31	創造力 2
32	計画力 1
33	計画力 2
34	ビジネスゲーム 1
35	ビジネスゲーム 2
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82 B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62 D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>
教科書名	『求められる人材になるための社会人基礎力講座 第2版』（日経BP）

科目名	PCスキル 応用	国際科	2年通年
講師	恒松 宏美	実習	火曜1限
実務経験のある教員等による指導	職業訓練校で社会人求職者を対象に主にWord、Excelの実技指導した経験を活かして、初心者から経験者まで受講者のレベルに合わせた指導と個別指導を徹底する。	2単位 36時間	全32回
科目概要	<p>2年次では、1年次に習得した基本的なコンピューターの知識を用いて、さらに高度なことができるようになる。メールの書き方、WordやExcelを用いたビジネス文書の書き方、Powerpointが使えるようになる。働く際に役立つコンピューターの知識を身に付ける。</p> <p>Windows10、Excel2016、Power Pointの基本操作をテキストを使いながら操作を中心に進める。またインターネットの使用ルールを正しく理解する。</p>		
到達目標	<p>Windowsでは、基本操作ができるようになる。</p> <p>Excelでは、データ入力と関数、表作成、グラフ作成ができるようになる。Power Pointでは、スライドの作成、編集、スライドショーの実行と印刷設定、アニメーション設定ができるようになる。情報倫理では、インターネットの使用ルールを正しく理解できるようになり、情報モラルが身に付く。</p>		
授業計画			
1	オリエンテーション		
2	Excelの基礎 (P60～66)		
3	Excelの基礎 (P67～72)		
4	Excel画面構成、基本用語テスト		
5	Excelの基礎 (P73～80)		
6	Excelの基礎 (P81～94)		
7	Excelの基礎 (P95～104)		
8	模擬試験 表計算 4級 20分		
9	模擬試験 表計算 4級 20分		
10	計算・関数		
11	計算・関数		
12	表計算 3級 第120回		
13	表計算 3級 第120回		
14	表計算 模擬テスト		
15	関数復習		
16	前期試験		
17	Power Point (発表資料作成) 1		
18	Power Point (発表資料作成) 2		
19	Power Point (発表資料作成) 3		
20	Power Pointの基礎 (P105～114)		
21	スライドの作成 (P115～130)		
22	スライドの編集 (P131～148)		
23	スライドの編集 (P131～148)		
24	スライドのの実行 (P149～162)		
25	スライドのの実行 (P149～162)		

26	スライドのの実行 (P149~162)
27	プレゼンテーション作成検定3級第48回 (作成)
28	プレゼンテーション作成検定3級第48回 (アニメーション設定)
29	プレゼンテーション作成検定3級第48回 (アニメーション設定)
30	インターネットと情報モラル
31	インターネットと情報モラル
32	後期試験
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82 B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62 D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したと認める</p>
教科書名	留学生のためのパソコン入門（インフォテック・サーブ）

科目名	実践コミュニケーション	国際科	2年通年
講師	上野綾子	講義	金曜5限
実務経験のある教員等による指導		2単位 36時間	全36回
科目概要	通訳として働く上で、人間関係を築くのは必要不可欠であり、人間関係を構築することはとても大切である。インタビュー調査や生教材を用いて、他者とのコミュニケーションをとる際に何が大切かを学ぶ。 ※フィールドワークを含む。		
到達目標	人とどのように接するべきか、人との距離の取り方などを学び、上手くコミュニケーションができるようになることを目標とする。		
授業計画			
1	メールの書き方		
2	メールの書き方		
3	映像を通して会社での人間関係を学ぶ		
4	映像を通して会社での人間関係を学ぶ		
5	クラスみんなで1つの紙芝居作成		
6	クラスみんなで1つの紙芝居作成		
7	クラスみんなで1つの紙芝居作成		
8	発表		
9	フィールドワーク1回目		
10	分析		
11	まとめ		
12	発表		
13	振り返り		
14	復習		
15	定期試験		
16	定期試験FB		
17	有名人について調べて発表-powerpoint準備-		
18	有名人について調べて発表-powerpoint準備-		
19	有名人について調べて発表-powerpoint準備-		
20	有名人について調べて発表-powerpoint準備-		
21	有名人について調べて発表-powerpoint準備-		
22	発表 振り返り		
23	CM作り①		
24	CM作り②		
25	CM作り③		
26	CM作り④		
27	CM作り⑤		
28	CM作り⑥		
29	発表		

30	振り返り
31	復習
32	復習
33	後期定期試験
34	後期的試験FB
35	総復習
36	総復習
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82 B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62 D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>
教科書名	プリント

科目名	総合日本語	国際科	2年通年
講師	①白濱明子 ②木村慎作 ③松本真夕	講義	①水曜1限 ②水曜2限 ③金曜1・2限
実務経験のある教員等による指導		8単位 144時間	全142回
科目概要	四技能（読む、聞く、書く、話す）を総合的に学習し、さらなる日本語力の向上につなげる。四技能を全体的に向上させることを目標とする。		
到達目標	中級後半から上級レベルの四技能（読む、聞く、書く、話す）の全体的な向上を目標とする。		
授業計画			
1	「学ぼう！にほんご 中級」L38 復習		
2	「学ぼう！にほんご 中級」L39 本文		
3	「学ぼう！にほんご 中級」L39 本文		
4	「学ぼう！にほんご 中級」L39 文法		
5	「学ぼう！にほんご 中級」L39 文法		
6	「学ぼう！にほんご 中級」復習と関連表現		
7	「日本語生中継 中上級編」		
8	問題集FB		
9	「学ぼう！にほんご 中級」L40 本文		
10	「学ぼう！にほんご 中級」L40 本文		
11	「学ぼう！にほんご 中級」L40 文法		
12	「学ぼう！にほんご 中級」L40 文法		
13	「学ぼう！にほんご 中級」復習と関連表現		
14	「日本語生中継 中上級編」		
15	問題集FB		
16	復習テスト		
17	復習テストFB		
18	読解		
19	読解		
20	読解		
21	「学ぼう！にほんご 中上級」L1 文法		
22	「学ぼう！にほんご 中上級」L1 文法		
23	「学ぼう！にほんご 中上級」L1 語彙を増やそう！		
24	「日本語生中継 中上級編」		
25	問題集FB		
26	問題集FB		
27	読解		
28	読解		

29	読解
30	「学ぼう！にほんご 中上級」L2 文法
31	「学ぼう！にほんご 中上級」L2 文法
32	「学ぼう！にほんご 中上級」L2 語彙を増やそう！
33	「日本語生中継 中上級編」
34	問題集FB
35	問題集FB
36	文法項目復習
37	語彙の復習
38	復習テスト
39	復習テストFB
40	「必ずできる 読解 N2」
41	「必ずできる 読解 N2」
42	「必ずできる 読解 N2」
43	「必ずできる 読解 N2」
44	「必ずできる 読解 N2」
45	読解
46	読解
47	読解
48	「学ぼう！にほんご 中上級」L3 文法
49	「学ぼう！にほんご 中上級」L3 文法
50	「学ぼう！にほんご 中上級」L3 語彙を増やそう！
51	「日本語生中継 中上級編」
52	復習テスト
53	漢字・ことば・文法・復習テストFB
54	「必ずできる 読解 N2」
55	「日本語生中継 中上級編」
56	漢字・ことば・文法・復習テストFB
57	漢字・ことば・文法・復習テストFB
58	復習
59	復習
60	前期定期試験
61	前期定期試験
62	前期定期試験
63	前期定期試験
64	前期定期試験FB
65	前期定期試験FB
66	前期定期試験FB
67	前期定期試験FB
68	読解

69	読解
70	読解
71	「学ぼう！にほんご 中上級」L4 文法
72	「学ぼう！にほんご 中上級」L4 文法
73	「学ぼう！にほんご 中上級」L4 語彙を増やそう！
74	「日本語生中継 中上級編」
75	「必ずできる 読解 N2」
76	「学ぼう！にほんご 中上級」L4 問題集FB
77	「学ぼう！にほんご 中上級」L4 問題集FB
78	読解
79	読解
80	「学ぼう！にほんご 中上級」L5 文法
81	「学ぼう！にほんご 中上級」L5 文法
82	「学ぼう！にほんご 中上級」L5 語彙を増やそう！
83	「日本語生中継 中上級編」
84	「学ぼう！にほんご 中上級」L5 問題集FB
85	「学ぼう！にほんご 中上級」L5 問題集FB
86	復習テスト
87	復習テストFB
88	「必ずできる 読解 N2」
89	「日本語生中継 中上級編」
90	「必ずできる 読解 N2」
91	読解／文法
92	読解／文法
93	読解／文法
94	「日本語生中継 中上級編」
95	読解
96	読解
97	読解
98	「学ぼう！にほんご 中上級」L6 文法
99	「学ぼう！にほんご 中上級」L6 文法
100	「学ぼう！にほんご 中上級」L6 語彙を増やそう！
101	「日本語生中継 中上級編」
102	「学ぼう！にほんご 中上級」L6 問題集FB
103	「学ぼう！にほんご 中上級」L6 問題集FB
104	テストFB
105	テストFB
106	読解
107	読解
108	読解

109	「学ぼう！にほんご 中上級」L7 文法
110	「学ぼう！にほんご 中上級」L7 文法
111	「学ぼう！にほんご 中上級」L7 語彙を増やそう！
112	「日本語生中継 中上級編」
113	「学ぼう！にほんご 中上級」L7 問題集FB
114	「学ぼう！にほんご 中上級」L7 問題集FB
115	復習テスト
116	復習テストFB
117	復習
118	復習
119	復習
120	復習
121	復習
122	復習
123	復習
124	復習
125	後期定期試験
126	後期定期試験
127	後期定期試験
128	後期定期試験
129	後期定期試験FB
130	後期定期試験FB
131	後期定期試験FB
132	後期定期試験FB
133	総復習
134	総復習
135	総復習
136	総復習
137	総復習
138	総復習
139	総復習
140	総復習
141	総復習
142	総復習

成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82 B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62 D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したと認める</p>
教科書名	<p>『学ぼう！にほんご 中級』、『学ぼう！にほんご 中上級』（専門教育出版）、『日本語生中継 中上級編』（くろしお出版）、『必ずできる読解N2』（アルク）</p>

科目名	日本語能力試験対策	国際科	2年通年
講師	①上野綾子 ②木村慎作 ③上村ひとみ ④永村洋藤	講義	①月曜3限 ②月曜4限 ③木曜4限 ④木曜5限
実務経験のある教員 等による指導		8単位 144時間	全134回
科目概要	日本語能力試験のN1・N2に合格することを目標に、実践形式の問題を解いていく。		
到達目標	日本語能力試験のN1・N2合格を目標とする。		
授業計画			
1	読解		
2	読解		
3	「ドリル&ドリルN1&N2」文字・語彙		
4	「ドリル&ドリルN1&N2」文法一文の文法1第1回一		
5	読解		
6	読解		
7	「ドリル&ドリルN1&N2」文字・語彙		
8	「ドリル&ドリルN1&N2」文法一文の文法1第1回一		
9	読解		
10	読解		
11	「ドリル&ドリルN1&N2」文字・語彙		
12	「ドリル&ドリルN1&N2」文法一並び替え 第1回一		
13	読解		
14	読解		
15	「ドリル&ドリルN1&N2」文字・語彙		
16	「ドリル&ドリルN1&N2」文法一文章の文法 第1回一		
17	読解		
18	読解		
19	「ドリル&ドリルN1&N2」文字・語彙		
20	「ドリル&ドリルN1&N2」文法一文の文法1 第2回一		
21	読解		
22	読解		
23	「ドリル&ドリルN1&N2」文字・語彙FB		
24	「ドリル&ドリルN1&N2」文法一文の文法1 第2回一		
25	読解		
26	読解		
27	「ドリル&ドリルN1&N2」文字・語彙FB		

28	「ドリル&ドリルN1&N2」文法一並び替え 第2回一
29	読解
30	読解
31	「ドリル&ドリルN1&N2」文字・語彙FB
32	「ドリル&ドリルN1&N2」文法一文章の文法 第2回一
33	読解
34	読解
35	「ドリル&ドリルN1&N2」文字・語彙FB
36	「ドリル&ドリルN1&N2」文法一文の文法1 第3回一
37	読解
38	読解
39	「ドリル&ドリルN1&N2」文字・語彙FB
40	「ドリル&ドリルN1&N2」文法一文の文法1 第3回一
41	読解
42	読解
43	「ドリル&ドリルN1&N2」文字・語彙FB
44	「ドリル&ドリルN1&N2」文法一文の文法 今までの復習
45	日本語能力試験模試
46	日本語能力試験模試
47	日本語能力試験模試
48	日本語能力試験模試
49	日本語能力試験模試FB
50	日本語能力試験模試FB
51	日本語能力試験模試FB
52	日本語能力試験模試FB
53	日本語能力試験模試
54	日本語能力試験模試
55	日本語能力試験模試
56	日本語能力試験模試
57	日本語能力試験模試FB
58	日本語能力試験模試FB
59	日本語能力試験模試FB
60	日本語能力試験模試FB
61	前期定期試験
62	前期定期試験
63	前期定期試験
64	前期定期試験
65	前期定期試験FB
66	前期定期試験FB
67	前期定期試験FB

68	前期定期試験FB
69	「ドリル&ドリルN1&N2」文字・語彙FB
70	「ドリル&ドリルN1&N2」文法—並び替え—第3回—
71	読解
72	読解
73	「ドリル&ドリルN1&N2」文字・語彙FB
74	「ドリル&ドリルN1&N2」文法—文章の文法—第3回—
75	読解
76	読解
77	「ドリル&ドリルN1&N2」文字・語彙FB
78	「ドリル&ドリルN1&N2」文法—文の文法1—第4回—
79	読解
80	読解
81	「ドリル&ドリルN1&N2」文字・語彙FB
82	「ドリル&ドリルN1&N2」文法—文の文法1—第4回—
83	読解
84	読解
85	「ドリル&ドリルN1&N2」文字・語彙FB
86	「ドリル&ドリルN1&N2」文法—並び替え—第4回—
87	読解
88	読解
89	「ドリル&ドリルN1&N2」文字・語彙FB
90	「ドリル&ドリルN1&N2」文法—文章の文法—第4回—
91	日本語能力試験模試
92	日本語能力試験模試
93	日本語能力試験模試
94	日本語能力試験模試
95	日本語能力試験模試FB
96	日本語能力試験模試FB
97	日本語能力試験模試FB
98	日本語能力試験模試FB
99	日本語能力試験模試
100	日本語能力試験模試
101	日本語能力試験模試
102	日本語能力試験模試
103	日本語能力試験模試FB
104	日本語能力試験模試FB
105	日本語能力試験模試FB
106	日本語能力試験模試FB
107	日本語能力試験模試

108	日本語能力試験模試
109	日本語能力試験模試
110	日本語能力試験模試
111	日本語能力試験模試FB
112	日本語能力試験模試FB
113	日本語能力試験模試FB
114	日本語能力試験模試FB
115	「ドリル&ドリルN1&N2」文字・語彙FB
116	「ドリル&ドリルN1&N2」文法一文の文法1―第5回―
117	読解
118	読解
119	「ドリル&ドリルN1&N2」文字・語彙FB
120	「ドリル&ドリルN1&N2」文法一文の文法1―第5回―
121	後期定期試験
122	後期定期試験
123	後期定期試験
124	後期定期試験
125	後期定期試験FB
126	後期定期試験FB
127	後期定期試験FB
128	後期定期試験FB
129	総復習
130	総復習
131	総復習
132	総復習
133	総復習
134	総復習
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82 B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62 D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>
教科書名	『必ずできる読解N2』（アルク）、『ドリル&ドリル 文法 N1/N2』 『ドリル&ドリル 文字・語彙 N1/N2』、『ドリル&ドリル 聴解 N1/N2』（ユニコム）

科目名	ビジネス日本語	国際科	2年通年
講師	木村慎作	講義	曜3限
実務経験のある教員 等による指導		2単位 36時間	全36回
科目概要	1年次で学んだことを活かし、仕事に必要な日本語の知識をより深める。会話文の作成やロールプレイなどの実践練習を通して、正しい敬語の使い方や表現を覚える。		
到達目標	実践的な練習を通して、働く際に必要となる日本語の知識を必要となる日本語の知識を深めることを目標とする。		
授業計画			
1	L5「頼む・断る」表現/相手に合わせた依頼の表現		
2	L5「頼む・断る」ことば		
3	L5「頼む・断る」練習問題		
4	L5「頼む・断る」/会話1		
5	L5「頼む・断る」/会話2		
6	L5「頼む・断る」ロールプレイ1・2		
7	L6「許可をもらう」クイズ/表現		
8	L6「許可をもらう」ことば		
9	L6「許可をもらう」練習問題/談話1		
10	L6「許可をもらう」談話2・談話3		
11	L6「許可をもらう」/会話1		
12	L6「許可をもらう」/会話2		
13	L6「許可をもらう」ロールプレイ1・ロールプレイ2		
14	L7「アポイントをとる」/クイズ/表現		
15	L7「アポイントをとる」/ことば		
16	L7「アポイントをとる」練習問題		
17	前期試験		
18	前期試験FB		
19	L7「アポイントをとる」談話1・談話2		
20	L7「アポイントをとる」談話3・談話4		
21	L7「アポイントをとる」会話1		
22	L7「アポイントをとる」会話2		
23	L7「アポイントをとる」会話3		
24	L7「アポイントをとる」ロールプレイ1・2		
25	L7「アポイントをとる」ロールプレイ3		
26	L8「訪問する」クイズ/表現/ことば		
27	L8「訪問する」談話1・2		
28	L8「訪問する」談話3		
29	L8「訪問する」会話1・2		

30	L8「訪問する」ロールプレイ1
31	L8「訪問する」ロールプレイ2
32	後期試験
33	後期試験FB
34	L5-L6 復習（ことば/表現）
35	L7-L8 復習（ことば/表現）
36	L5-L8 復習（談話）
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82 B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62 D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>
教科書名	にほんで働く！ビジネス日本語30時間（スリーエーネットワーク）

科目名	日本事情	国際科	2年通年
講師	木村慎作	講義	木曜6限
実務経験のある教員 等による指導		2単位 36時間	全36回
科目概要	日本の会社にある特有の慣例や独特の表現について学んでいく。一年次で学んだ「日本事情」「ビジネスマナー」「ビジネス日本語」の知識を総合的に駆使し、現場に出たときに困らないようにロールプレイなどの実践演習を通して、知識を深める。		
到達目標	卒業後、留学生が日本の会社で働くときに即戦力として働ける知識とスキルを身につけることを目標とする。		
授業計画			
1	マンガで体験！にっぽんの会社-1「そこまで正直でなくても」		
2	マンガで体験！にっぽんの会社-2「ほうれんそうの前に確認を」		
3	マンガで体験！にっぽんの会社-3「待つ身になってみないとね」		
4	マンガで体験！にっぽんの会社- 1~3 復習		
5	マンガで体験！にっぽんの会社-4「書き出しが肝心なのです」		
6	マンガで体験！にっぽんの会社-5「何を聞きたいかを、最初にね」		
7	マンガで体験！にっぽんの会社-6「その呼び方、ちょっと待った」		
8	マンガで体験！にっぽんの会社- 1~6 復習		
9	マンガで体験！にっぽんの会社-7「電話はメモする習慣をつけて」		
10	マンガで体験！にっぽんの会社-8「4時と14時は大違い」		
11	マンガで体験！にっぽんの会社-9「だから順番は大切なんですって」		
12	マンガで体験！にっぽんの会社-10「有給休暇！心奪われる響きだけど」		
13	マンガで体験！にっぽんの会社-7-10 復習		
14	前期 定期試験		
15	前期 定期試験FB		
16	マンガで体験！にっぽんの会社-11「あれ？みんなまだ帰らないの？」		
17	マンガで体験！にっぽんの会社-12「スケジュール管理はしっかりと」		
18	マンガで体験！にっぽんの会社-13「そこはちょっと思い切って」		
19	マンガで体験！にっぽんの会社-14「大事なものは日時とテーマ」		
20	マンガで体験！にっぽんの会社-15「最初の一言が肝心！」		
21	マンガで体験！にっぽんの会社-11-15 復習		
22	マンガで体験！にっぽんの会社-16「いくら地図が苦手でも」		
23	マンガで体験！にっぽんの会社-17「何を話せばいいのかな」		
24	マンガで体験！にっぽんの会社-18「ほうれんそうは社外にも」		
25	マンガで体験！にっぽんの会社-19「名刺はきちんと整理しておかないと」		
26	マンガで体験！にっぽんの会社-20「仕事のメールに顔文字??」		
27	マンガで体験！にっぽんの会社-16-20 復習		
28	マンガで体験！にっぽんの会社-21「相手の名前は重要だから」		

29	マンガで体験！にっぽんの会社-22「急いでる人もいるからね」
30	後期 復習11-22
31	後期 定期試験
32	後期 定期試験FB
33	マンガで体験！にっぽんの会社-23「聞く耳を持つことも大切」
34	マンガで体験！にっぽんの会社-24「質問するのは恥ずかしいことじゃない」
35	マンガで体験！にっぽんの会社-25「いくら後輩だからって」
36	マンガで体験！にっぽんの会社-23-25 復習
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82 B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62 D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>
教科書名	「マンガで体験！にっぽんのカイシャ」（日本漢字能力検定協会）

科目名	日本語レベルアップ	国際科	2年通年
講師	上野綾子	講義	☑曜5限
実務経験のある教員 等による指導		2単位 36時間	全33回
科目概要	「話す」「書く」などを中心に学ぶ。自ら発信する力を身に付けることで、日本語を「知っている」から「使える」に変え、日本語を運用できる力を習得する。ニュース、新聞記事等の「生教材」を用い、そこから自分の考えを述べる活動を行う。		
到達目標	日本語の運用能力の向上を目標とする。		
授業計画			
1	熊本県庁作成防災についてベトナム語訳→日本語の確認①		
2	防災について②		
3	防災について②		
4	防災について③		
5	防災について④		
6	防災について⑤		
7	防災について⑥		
8	ディスカッション（※テーマは社会に出てからのこと）		
9	ディスカッション（※テーマは社会に出てからのこと）		
10	ディスカッション（※テーマは社会に出てからのこと）		
11	・ディスカッション ・キャッチコピー制作		
12	・「社会人として必要なものは何か」ディスカッション□		
13	復習		
14	前期定期試験		
15	定期試験FB		
16	ビデオ「もっともっとくまもっと」ナレーション		
17	ビデオ「もっともっとくまもっと」ナレーション		
18	ビデオ「もっともっとくまもっと」ナレーション		
19	ビデオ「もっともっとくまもっと」ナレーション		
20	ビデオ「もっともっとくまもっと」ナレーション		
21	ビデオ「もっともっとくまもっと」ナレーション		
22	発表		
23	熊本の方言について		
24	熊本の方言について		
25	熊本の旅行プランを考える		
26	熊本の旅行プランを考える		
27	熊本の旅行プランを考える		
28	熊本の旅行プランを考える		
29	熊本の旅行プランを考える		

30	発表
31	後期定期試験
32	後期定期試験FB
33	まとめ
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82 B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62 D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>
教科書名	プリント

科目名	通訳講座	国際科	2年通年
講師	①Tran Thi Bao Tram ③、⑤白濱明子 ②、⑥上野綾子	講義	①月曜1・2限 ②火曜3限 ③火曜4限 ⑤木曜1限 ⑥木曜2限
実務経験のある教員等による指導		12単位 216時間	全200回
科目概要	1年次で築いた土台の上に基本的な練習を続けながら、通訳者にとって大切なメモ取りの練習や言い換え練習などより高度な練習を行う。さらに、実際に逐次通訳から通訳の練習などを取り入れていく。		
到達目標	1年次で身に付けたスキルをもとに、実際に通訳ができるようになることを目標とする。		
授業計画			
1	「キクタン」母語意味解釈（一年次の応用）		
2	ディクテーション 日本語長文聴解による内容理解と母語訳 実践練習		
3	時事（ニュース記事などの通訳）		
4	長文要約		
5	長文要約		
6	発音・シャドーイング 文脈理解 ベトナム語→日本語訳 一文通訳 ビジネスver.		
7	「キクタン」母語意味解釈（一年次の応用）		
8	ディクテーション 日本語長文聴解による内容理解と母語訳 実践練習		
9	時事（ニュース記事などの通訳）		
10	長文要約		
11	長文要約		
12	発音・シャドーイング 文脈理解 ベトナム語→日本語訳 一文通訳 ビジネスver.		
13	「キクタン」母語意味解釈（一年次の応用）		
14	ディクテーション 日本語長文聴解による内容理解と母語訳 実践練習		
15	時事（ニュース記事などの通訳）		
16	長文要約		
17	長文要約		
18	発音・シャドーイング 文脈理解 ベトナム語→日本語訳 一文通訳 ビジネスver.		
19	「キクタン」母語意味解釈（一年次の応用）		
20	ディクテーション 日本語長文聴解による内容理解と母語訳 実践練習		
21	時事（ニュース記事などの通訳）		
22	長文要約		
23	長文要約		
24	発音・シャドーイング 文脈理解 ベトナム語→日本語訳 一文通訳 ビジネスver.		
25	「キクタン」母語意味解釈（一年次の応用）		
26	ディクテーション 日本語長文聴解による内容理解と母語訳 実践練習		
27	時事（ニュース記事などの通訳）		
28	長文要約		

29	長文要約
30	発音・シャドーイング 文脈理解 ベトナム語→日本語訳 一文通訳 ビジネスver.
31	「キクタン」母語意味解釈（一年次の応用）
32	ディクテーション 日本語長文聴解による内容理解と母語訳 実践練習
33	時事（ニュース記事などの通訳）
34	長文要約
35	長文要約
36	発音・シャドーイング 文脈理解 ベトナム語→日本語訳 一文通訳 ビジネスver.
37	「キクタン」母語意味解釈（一年次の応用）
38	ディクテーション 日本語長文聴解による内容理解と母語訳 実践練習
39	時事（ニュース記事などの通訳）
40	長文要約
41	長文要約
42	発音・シャドーイング 文脈理解 ベトナム語→日本語訳 一文通訳 ビジネスver.
43	「キクタン」母語意味解釈（一年次の応用）
44	ディクテーション 日本語長文聴解による内容理解と母語訳 実践練習
45	時事（ニュース記事などの通訳）
46	長文要約
47	長文要約
48	発音・シャドーイング 文脈理解 ベトナム語→日本語訳 一文通訳 ビジネスver.
49	「キクタン」母語意味解釈（一年次の応用）
50	ディクテーション 日本語長文聴解による内容理解と母語訳 実践練習
51	時事（ニュース記事などの通訳）
52	長文要約
53	長文要約
54	発音・シャドーイング 文脈理解 ベトナム語→日本語訳 一文通訳 ビジネスver.
55	「キクタン」母語意味解釈（一年次の応用）
56	ディクテーション 日本語長文聴解による内容理解と母語訳 実践練習
57	時事（ニュース記事などの通訳）
58	長文要約
59	長文要約
60	発音・シャドーイング 文脈理解 ベトナム語→日本語訳 一文通訳 ビジネスver.
61	「キクタン」母語意味解釈（一年次の応用）
62	ディクテーション 日本語長文聴解による内容理解と母語訳 実践練習
63	時事（ニュース記事などの通訳）
64	長文要約
65	長文要約
66	発音・シャドーイング 文脈理解 ベトナム語→日本語訳 一文通訳 ビジネスver.
67	「キクタン」母語意味解釈（一年次の応用）
68	ディクテーション 日本語長文聴解による内容理解と母語訳 実践練習

69	時事（ニュース記事などの通訳）
70	長文要約
71	長文要約
72	発音・シャドーイング 文脈理解 ベトナム語→日本語訳 一文通訳 ビジネスver.
73	「キクタン」母語意味解釈（一年次の応用）
74	ディクテーション 日本語長文聴解による内容理解と母語訳 実践練習
75	時事（ニュース記事などの通訳）
76	長文要約
77	長文要約
78	発音・シャドーイング 文脈理解 ベトナム語→日本語訳 一文通訳 ビジネスver.
79	「キクタン」母語意味解釈（一年次の応用）
80	ディクテーション 日本語長文聴解による内容理解と母語訳 実践練習
81	時事（ニュース記事などの通訳）
82	長文要約
83	長文要約
84	発音・シャドーイング 文脈理解 ベトナム語→日本語訳 一文通訳 ビジネスver.
85	「キクタン」母語意味解釈（一年次の応用）
86	ディクテーション 日本語長文聴解による内容理解と母語訳 実践練習
87	時事（ニュース記事などの通訳）
88	長文要約
89	長文要約
90	発音・シャドーイング 文脈理解 ベトナム語→日本語訳 一文通訳 ビジネスver.
91	前期定期試験
92	前期定期試験
93	前期定期試験
94	前期定期試験
95	前期定期試験
96	前期定期試験
97	前期定期試験FB
98	前期定期試験FB
99	前期定期試験FB
100	前期定期試験FB
101	前期定期試験FB
102	前期定期試験FB
103	「キクタン」母語意味解釈（一年次の応用）
104	ディクテーション 日本語長文聴解による内容理解と母語訳 実践練習
105	時事（ニュース記事などの通訳）
106	長文要約
107	長文要約
108	発音・シャドーイング 文脈理解 ベトナム語→日本語訳 一文通訳 ビジネスver.

109	「キクタン」母語意味解釈（一年次の応用）
110	ディクテーション 日本語長文聴解による内容理解と母語訳 実践練習
111	時事（ニュース記事などの通訳）
112	長文要約
113	長文要約
114	発音・シャドーイング 文脈理解 ベトナム語→日本語訳 一文通訳 ビジネスver.
115	「キクタン」母語意味解釈（一年次の応用）
116	ディクテーション 日本語長文聴解による内容理解と母語訳 実践練習
117	時事（ニュース記事などの通訳）
118	長文要約
119	長文要約
120	発音・シャドーイング 文脈理解 ベトナム語→日本語訳 一文通訳 ビジネスver.
121	「キクタン」母語意味解釈（一年次の応用）
122	ディクテーション 日本語長文聴解による内容理解と母語訳 実践練習
123	時事（ニュース記事などの通訳）
124	長文要約
125	長文要約
126	発音・シャドーイング 文脈理解 ベトナム語→日本語訳 一文通訳 ビジネスver.
127	「キクタン」母語意味解釈（一年次の応用）
128	ディクテーション 日本語長文聴解による内容理解と母語訳 実践練習
129	時事（ニュース記事などの通訳）
130	長文要約
131	長文要約
132	発音・シャドーイング 文脈理解 ベトナム語→日本語訳 一文通訳 ビジネスver.
133	「キクタン」母語意味解釈（一年次の応用）
134	ディクテーション 日本語長文聴解による内容理解と母語訳 実践練習
135	時事（ニュース記事などの通訳）
136	長文要約
137	長文要約
138	発音・シャドーイング 文脈理解 ベトナム語→日本語訳 一文通訳 ビジネスver.
139	「キクタン」母語意味解釈（一年次の応用）
140	ディクテーション 日本語長文聴解による内容理解と母語訳 実践練習
141	時事（ニュース記事などの通訳）
142	長文要約
143	長文要約
144	発音・シャドーイング 文脈理解 ベトナム語→日本語訳 一文通訳 ビジネスver.
145	「キクタン」母語意味解釈（一年次の応用）
146	ディクテーション 日本語長文聴解による内容理解と母語訳 実践練習
147	時事（ニュース記事などの通訳）
148	長文要約

149	長文要約
150	発音・シャドーイング 文脈理解 ベトナム語→日本語訳 一文通訳 ビジネスver.
151	「キクタン」母語意味解釈（一年次の応用）
152	ディクテーション 日本語長文聴解による内容理解と母語訳 実践練習
153	時事（ニュース記事などの通訳）
154	長文要約
155	長文要約
156	発音・シャドーイング 文脈理解 ベトナム語→日本語訳 一文通訳 ビジネスver.
157	「キクタン」母語意味解釈（一年次の応用）
158	ディクテーション 日本語長文聴解による内容理解と母語訳 実践練習
159	時事（ニュース記事などの通訳）
160	長文要約
161	長文要約
162	発音・シャドーイング 文脈理解 ベトナム語→日本語訳 一文通訳 ビジネスver.
163	「キクタン」母語意味解釈（一年次の応用）
164	ディクテーション 日本語長文聴解による内容理解と母語訳 実践練習
165	時事（ニュース記事などの通訳）
166	長文要約
167	長文要約
168	発音・シャドーイング 文脈理解 ベトナム語→日本語訳 一文通訳 ビジネスver.
169	「キクタン」母語意味解釈（一年次の応用）
170	ディクテーション 日本語長文聴解による内容理解と母語訳 実践練習
171	時事（ニュース記事などの通訳）
172	長文要約
173	長文要約
174	発音・シャドーイング 文脈理解 ベトナム語→日本語訳 一文通訳 ビジネスver.
175	「キクタン」母語意味解釈（一年次の応用）
176	ディクテーション 日本語長文聴解による内容理解と母語訳 実践練習
177	時事（ニュース記事などの通訳）
178	長文要約
179	長文要約
180	発音・シャドーイング 文脈理解 ベトナム語→日本語訳 一文通訳 ビジネスver.
181	後期定期試験
182	後期定期試験
183	後期定期試験
184	後期定期試験
185	後期定期試験
186	後期定期試験
187	後期定期試験FB
188	後期定期試験FB

189	後期定期試験FB
190	後期定期試験FB
191	後期定期試験FB
192	後期定期試験FB
193	実践練習
194	実践練習
195	実践練習
196	実践練習
197	実践練習
198	実践練習
199	実践練習
200	実践練習
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82 B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62 D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したと認める</p>
教科書名	『キクタンN2』（アルク）、『日本語生中継 初中級編2』（くろしお出版）、『ドリル&ドリルN1 聴解』（ユニコム）、『日本留学試験 速攻トレーニング 聴解編』（アルク）

科目名	翻訳の日本語	国際科	2年通年
講師	①Tran Thi Bao Tram ②上野綾子	講義	①月曜 5限 ②水曜 5限
実務経験のある教員 等による指導		4単位 72時間	全66回
科目概要	1年次の「通訳入門」の際に学んだ翻訳の技術のさらなる向上を目指す。実際の看板やお知らせなどの短い文から訳を行い、最終的には、学生たちが触れるであろう行政の書類やお知らせなどの翻訳を行うことで、翻訳技術の向上を目指す。		
到達目標	1年に身に付けた翻訳の技術のさらなる向上を目標とする。		
授業計画			
1	「ゴミの出し方のルール・医療機関受診の際のルール」翻訳		
2	「ゴミの出し方のルール・医療機関受診の際のルール」翻訳のチェック		
3	「パート・アルバイトを探す」翻訳 ※アルバイトを探す場面でよく使われる表現訳		
4	「パート・アルバイトを探す」翻訳 ※アルバイトを探す場面でよく使われる表現訳チェック		
5	「銀行ATM」翻訳		
6	「銀行ATM」翻訳のチェック		
7	「熊本の郷土料理」翻訳		
8	「熊本の郷土料理」翻訳のチェック		
9	「病院に関することば」翻訳		
10	「病院に関することば」翻訳のチェック		
11	「郵便受けに入っているもの」翻訳		
12	「郵便受けに入っているもの」翻訳のチェック		
13	「郵便受けに入っているもの」② 翻訳		
14	「郵便受けに入っているもの」② 翻訳のチェック		
15	「引っ越しをする前に」翻訳		
16	「引っ越しをする前に」翻訳のチェック		
17	「引っ越しをする前に」翻訳②		
18	「引っ越しをする前に」翻訳②のチェック		
19	「光熱費等の手紙」の翻訳		
20	「光熱費等の手紙」の翻訳のチェック		
21	「光熱費等の手紙」の翻訳②		
22	「光熱費等の手紙」の翻訳②のチェック		
23	看板等の翻訳		
24	看板等の翻訳のチェック		
25	公共機関の書類などを翻訳→チェック		
26	公共機関の書類などを翻訳→チェック		
27	復習		
28	前期的試験		

29	前期的試験
30	前期的試験FB
31	前期的試験FB
32	有名人な人物の一生の翻訳 ・ 要約
33	有名人な人物の一生の翻訳 ・ 要約
34	有名人な人物の一生の翻訳 ・ 要約
35	有名人な人物の一生の翻訳 ・ 要約
36	有名人な人物の一生の翻訳 ・ 要約
37	有名人な人物の一生の翻訳 ・ 要約
38	有名人な人物の一生の翻訳 ・ 要約
39	有名人な人物の一生の翻訳 ・ 要約
40	公共機関の書類などを翻訳
41	公共機関の書類などを翻訳
42	公共機関の書類などを翻訳
43	公共機関の書類などを翻訳
44	公共機関の書類などを翻訳
45	公共機関の書類などを翻訳
46	熊本の魅力 翻訳
47	熊本の魅力 チェック
48	熊本の魅力 翻訳
49	熊本の魅力 チェック
50	熊本の魅力 翻訳
51	熊本の魅力 チェック
52	熊本の魅力 翻訳
53	熊本の魅力 チェック
54	熊本の魅力 翻訳
55	熊本の魅力 チェック
56	復習
57	ベトナム語の日本紹介 ベトナム語→日本語
58	チェック
59	後期定期試験
60	後期定期試験
61	後期定期試験FB
62	後期定期試験FB
63	歌の歌詞翻訳
64	チェック
65	復習
66	復習

成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82 B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62 D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>
教科書名	プリント